

農業委員会だより

発行・編集：町田市農業委員会・農業委員会だより編集委員会

町田市森野2-2-22 Tel：042-724-2169

新年を迎えて ～町田市農業委員会会長 吉川庄衛～

農家の皆様、新年あけましておめでとうございます。世界的要因により、依然として肥料、飼料、諸材料や光熱費等の物価高騰の影響を受け、農家の皆様におかれましては、何かと影響がありご苦労されておられることと思います。新年にあたり、一日も早く日常が戻り、2024年が実り多い一年となりますよう、ご祈念申し上げます。

さて、近年、都市農業や農地を巡る税制を含めた様々な制度改正が行われておりますが、町田市農業委員会では農業者のため、制度が有効適切に活用されるよう取り組んでまいりました。しかし、町田市の農業を未来に繋ぐため、創意工夫し努力してきた都市農家の生産現場にとっては、そぐわない制度もあります。都市農業の基盤である生産緑地の追加指定を含めた本年1月1日町田市告示面積は約189ヘクタールで、昨年より8.75ヘクタール減少しており、生産緑地指定から30年経過等もあり過去最大の面積の減少であります。

一方、「都市農地の貸借の円滑化に関する法律」により相続税納税猶予適用農地も貸すことができ、借地権など発生せず期限が到来すると農地所有者に必ず返還される等、故障や高齢により耕作が大変になっても、この制度を利用することができます。この制度では、農家開設型の市民農園も開設することもできます。日々直面する農地に関する各種制度や課題等、何かございましたら地元の委員や事務局にぜひご相談ください。また、先祖からの農地を守り、市内農業をさらに発展させ、町田市の都市づくりに貢献されてきた農家の皆様が報われるよう、ご意見をお聞きして国や都への要望を続けてまいります。

本年も、農家の皆様、JA町田市、関係団体や関係機関のご協力をいただきながら、委員一同、努力してまいりますこととお誓いし、年頭の挨拶とさせていただきます。



町田市から2名の方が農業功労者表彰を受けました！



公益財団法人内田農業振興会の令和5年度農業功労者表彰事業で、元農業委員の森和幸様と現農業委員の、北島進様が、『緑綬功労賞』を受章されました。

『緑綬功労賞』とは、農業の発展または振興に功労のあった者へ、公益財団法人内田農業振興会が表彰を行うものです。

長年のご功績に対する、栄えあるご受章、大変おめでとうございます。

都市農政議員懇談会視察研修を実施しました！



昨年 10 月 2 日に都市農政議員懇談会視察研修を実施しました。この研修は、市議会議員の皆様にも町田市の農業の現状や課題を伝えるとともに、新しい制度を活用した取組みを行っている事例等を視察していただくもので、他市ではない珍しい農業委員会活動の一つです。市議会議員 33 名の皆様にご参加いただきました。



今年度は、忠生公園内の田んぼ、町田市民農業研修農園、農業後継者農地の 3 か所を視察した後、全国農業会議所 前専務理事 柚木茂夫様より「最近の農地制度と今後について」の講演をしていただきました。議員の皆様からも多数の質問もあり、活発な意見交換が行われました。

南多摩地区 5 市での農業委員・農地利用適正化推進委員研修会に参加

昨年 10 月 3 日に南多摩地区農業委員・推進委員で農業委員の活動についての研修を行いました。農地・担い手対策の講義を受講した後、一般社団法人全国農業会議所 原 修吉様（都市農業専門相談員）より『東京の農業・農地の継続に向けて』制度との向き合い方について講演していただきました。斬新な切り口の相続対策が大変参考になりました。



特定生産緑地の申請締切にご注意ください！

平成 7 年指定の生産緑地を特定生産緑地に移行を希望される方は **2024 年 3 月 29 日（金）までに申請書を提出していなければ特定生産緑地の指定を受けることができません。**

指定を希望される方はお忘れの無いようご注意ください。

（申請書は平成 7 年、8 年指定の生産緑地を所有している方に 2023 年 9 月頃にお送りしています。）

※窓口で、申請の判断やメリットデメリット等、個別に相談を行っています。

【特定生産緑地についてのお問い合わせ】土地利用調整課 電話：042-724-4254

現に耕作されている市街化区域の農地を生産緑地にしませんか？

追加指定が可能な農地とは

新規対象農地	以下の項目を満たす必要があります。
	① 同一街区または隣接街区を含めた区域で一団として 300 m ² 以上が確保できること。（一団と認められるか否かは申し込み後に市で確認します。）
	② 登記地目が田・畑であること。
	③ 市街化区域内の農地で、現に耕作されていて固定資産税の地目が田・畑であること。
	④ 30 年以上の営農が期待できること。（故障等により解除の手続きが出来ます。）
再指定 対象農地	⑤ 連担しない個々の農地面積は 100 m ² 以上の一筆単位であること。
	次のいずれも対象となります。
	○過去に生産緑地を解除した農地 ○農地転用届け出済み農地（農地継続の確認のため別途「申出書」が必要です。）

生産緑地追加指定 事前募集について

事前募集期間：2024年1月9日（火）～ 1月31日（水）まで（土・日・祝日を除く）
（期間厳守）

【お問い合わせ】町田市役所 9 階 905 農業振興課 電話：042-724-2166

第 50 回町田市農業祭が開催されました！

昨年11月11日（土）・12日（日）の2日間、町田シバヒロで農業祭が開催されました。当日は肌寒い天候でしたが、多くの来場者におこしいただきました。

11日（土）には、農業祭表彰式を行いました。多くの来場者が観覧する中での受賞者の発表や、受賞者に対しての賞状と記念品の授与を行いました。

農業委員会ブースでは、正月飾りやワラボウキのわら細工づくり体験と、販売を行いました。使用した稲わらは、米作り農業体験で市民のみなさんと育てた稲です。稲わらでつくるわら細工を珍しがりながら、体験ではみなさん素敵な作品をつくれ大変好評でした。来年度も参加をお待ちしております。



**販売した
わら細工**

左から

- ・ほうき
- ・なべしき
- ・亀



農業委員会ブースは盛況でした！

2023年度主な特別賞

東京都知事賞
町田市市長賞

農産物品評会（野菜・植木）

森 和宏様	横田 直紀様
大塚 和一郎様	河合 信男様
原 恵様	横田 竜雄様
荻野 福光様	渡邊 俊之様
大塚 和一郎様	横田 直紀様
佐藤 駿様	

営農技術競技会

森 和幸様
森 和幸様
北島 隆様
鎌田 勝様
鎌田 勝様

町田市議会議長賞
町田市農業委員会会長賞
町田市農業協同組合
組合長賞

米作り農業体験～稲刈り・収穫祭～

昨年の夏は平均気温を大きく上回る猛暑となりましたが、春に植えた苗は順調に生育し、9月30日（土）に無事に稲刈りを迎えることができました。米作り農業体験では、予定していた体験日が雨に見舞われるなど、天候に恵まれない中、参加者の皆さんと農業の原点に触れることにより、改めて農業の大変さや文化を再認識し、みなさんと共に農作物の成長の喜びを共有いたしました。

11月26日（日）に開催されました収穫祭では、収穫したお米を使用し、杵と臼を使って餅をつき、伸び餅にする体験をしてもらいました。また野菜釣りのゲームをしたりと楽しいひと時を過ごされたようです。農と食が身近になる貴重な体験になったと思います。



稲刈りの様子



お餅つき



伸び餅作り



野菜釣りゲーム

わら細工作りを市内の小学校で行いました

昨年12月5日に、小山田・小山田南小学校の五年生を対象に、米作り農業体験で刈り取った稲わらを使い、わら細工教室を行いました。子どもたちと「正月飾り作り」や「縄作り」を体験することを通して、生活に身近なお米作りの大切さに触れるとともに、収穫後のわらを有効活用してきた日本の伝統文化について学んでもらいました。子どもたちは大きさや太さに個性がでている素敵な作品を、お互いに見せ合いながら楽しんでわら細工に取り組んでいました。



わら細工作り指導の様子



正月飾り作成の様子



縄作りの様子



完成したわら細工

生産緑地を耕作することにお悩みの方へ

健康に不安のある方やご高齢の方など、生産緑地としての管理ができなくてお困りの方はいませんか？ 都市農地の貸借の円滑化に関する法律が施行され、生産緑地の貸借が出来るようになり、契約期間経過後に農地が返ってくるため安心して農地を貸すことが出来るようになりました。また、相続税納税猶予制度の適用農地でも貸すことが可能です。

詳しくは農業委員会事務局までお問合せください。

◎問い合わせ先 農業委員会事務局

TEL 042-724-2169

ご実家が農家の方でも応募できます！

●農業研修生募集！！

町田市では、新たに農業経営を目指す方など、「自ら耕作できる技術を持った人材」の育成を目的とした2年間の農業研修を行っています。農業を基礎から学べるため、今後、農家の後継者を目指す方も、ぜひご応募ください。

募集の詳細は、1月の広報まちだに掲載します。

◎問い合わせ先 農業振興課

TEL 042-724-2166

農業委員会事務局よりお知らせ

●農業者年金に加入しませんか？

農業者年金は加入者・受給者数に左右されにくい積立方式での公的年金です。ご興味がある方はぜひ、農業委員会事務局までご連絡ください。

●全国農業新聞を読みませんか？

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である、全国農業会議所が発行する農業総合専門紙です。

★購読料 月700円 ★発行日 毎週金曜日

編集後記

新年あけましておめでとう御座います。新年号をお読み頂きましてありがとうございます。御座います。本号は、会長の新年の挨拶に始まり、例年実施の農業祭や米作り農業体験の収穫祭の編集をいたしましたが、いかがでしたでしょうか。今年は暖冬と予報されていますが、暖冬の年にはドカ雪が降ると言われています。

今後の気象情報に留意して、冬野菜や農業施設への注意が必要かと思われます。今後とも皆さまには、農業委員会の活動報告や適宜必要な情報提供の紙面作りに心掛けて行きたいと思っております。

【編集委員長】山下 【編集副委員長】井上 【編集委員】吉川、横田、矢沢、本橋、臼井

農業委員会事務局 TEL 042-724-2169 経済観光部農業振興課 TEL 042-724-2166